

行政調査報告書「経済福祉常任委員会」

平成29年7月19日（水）～21日（金）

■大阪府堺市『発達障害支援センター（アプリコット堺）について』

同センターでは、発達障害児(者)とその家族からの相談に応じ、指導・助言を行うために、保健、医療、福祉、教育、労働などの関係機関とネットワークが構築されている。他に就労支援にも力を入れている。

本市は政令指定都市ではないため、センターの設置義務はないが、縦割り型の窓口ではなく、横へつながるネットワークの入り口としての相談窓口業務は参考になった。



■福岡県福岡市『水素リーダー都市プロジェクトについて』



中部水処理センターでは、汚水処理と雨水の排除を主事業として、汚水処理の過程で発生するガスを精製したメタンガスを原料に水素を製造している。1日あたり水素3,300m³(燃料電池自動車約65台分の燃料)を製造している。また、下水処理水をさらに高度処理し、トイレの洗浄水や樹木の散水用として再生水を活用している。

下水の処理から始まり、再生水、バイオマス発電、水素製造、と事業展開に無駄はないか、この先には何ができるのか、そういった視点を維持しながら進める姿勢は参考になった。

■福岡県北九州市『ウーマンワークカフェ北九州の取組みについて』

このカフェは、女性の就業、キャリアアップ、創業、子育てに関する「国・県・市によるワンストップ女性総合施設」であり、国と県の窓口も施設内にあるため、初期相談窓口から総合窓口までトータルサポートを受けられる。

相談者や対応する職員も女性なので、同性ならではの親身な相談ができ、相談者にとっては来所しやすい環境であると感じた。本市でも部署にかかわらず、細かい配慮のできる女性目線での業務遂行を心掛けてほしいと感じた。

